

－ 手足口病 : 過去5年間の同時期に比べ多い！ －

手足口病は、口腔、手及び足等に水疱性の発疹ができるウイルス感染症で、乳幼児を中心に夏季に流行が見られます。原因となるウイルスは、主にコクサッキーウイルス A16、エンテロウイルス 71 で、その他コクサッキーウイルス A6 等が原因となることもあります。

今週の和歌山県全体の定点当たり患者報告数は1.23人（前週：0.87人）と増加し、過去5年間の同時期に比べ多い状況です。

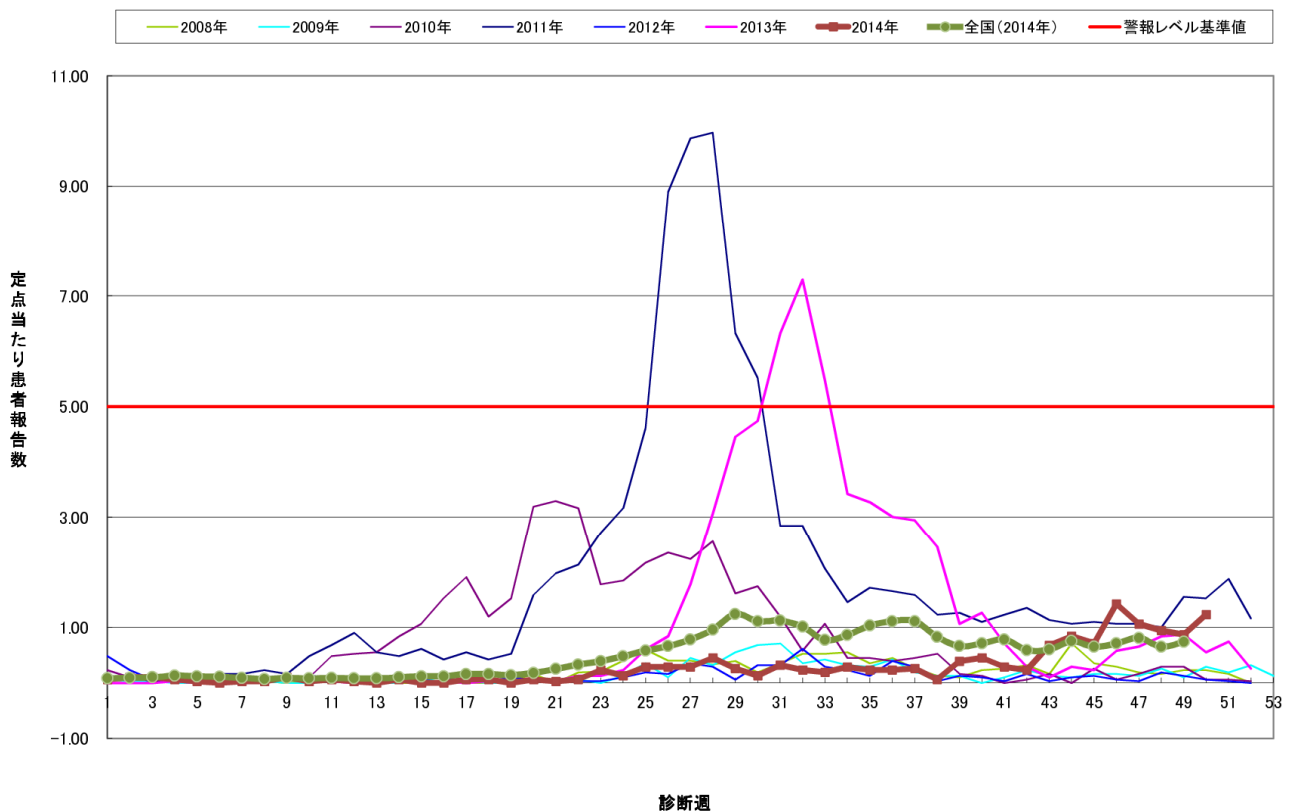
全国的にも患者報告数は増加し、過去5年間の同時期に比べ多い状況です。（第49週：0.74人）

主な感染経路は、飛沫感染、接触感染及び糞口感染ですので、感染予防のためには流水と石けんで十分に手洗いを行うこと、またタオルの共用を避けることが大切です。

手足口病の詳しい説明はこちら：(厚生労働省HP)

(<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/hfmd.html>)

手足口病(和歌山県全体)



－ インフルエンザ 昨シーズンより早い流行期入り！！－

今週の和歌山県全体の定点当たり患者報告数は3.04人（前週：0.76人）と急増し、昨シーズンより2週間早く流行期に入りました。

保健所別では橋本保健所管内が5.83人と最も多く、次いで岩出保健所管内で5.33人、和歌山市保健所管内で3.87人となっています。

全国的にも定点当たりの患者報告数は大きく増加し、流行期に入っています。（第49週：3.49人）

今後さらに患者報告数が増え、1～3月にかけて流行のピークを迎えると思われますので、予防接種を受けたり、うがい・手洗いの励行、マスクの着用等による咳エチケットを心がけ、感染の予防に努めましょう。

インフルエンザに関する説明はこちら：(厚生労働省HP)

(http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infu/enza/index.html)

－ RSウイルス感染症：報告数増加！－

RSウイルス感染症はRSウイルスを原因とする呼吸器感染症で、2歳までにほぼ100%の子供が初感染を受けるとされています。また、生涯にわたり感染を繰り返す感染症です。

和歌山県全体の定点当たり患者報告数は、0.97人（前週：0.55人）と大きく増加しました。過去5年間の同時期に比べ少ない状況ですが、例年冬季に報告数のピークがみられること、全国的に大流行していることから、今後の動向に注意してください。

全国的には患者報告数は増加し、過去5年間の同時期に比べ非常に多い状況です。（第49週：6851人）

主な感染経路は飛沫感染と接触感染であることから、感染予防対策としては手洗い、うがいが基本です。

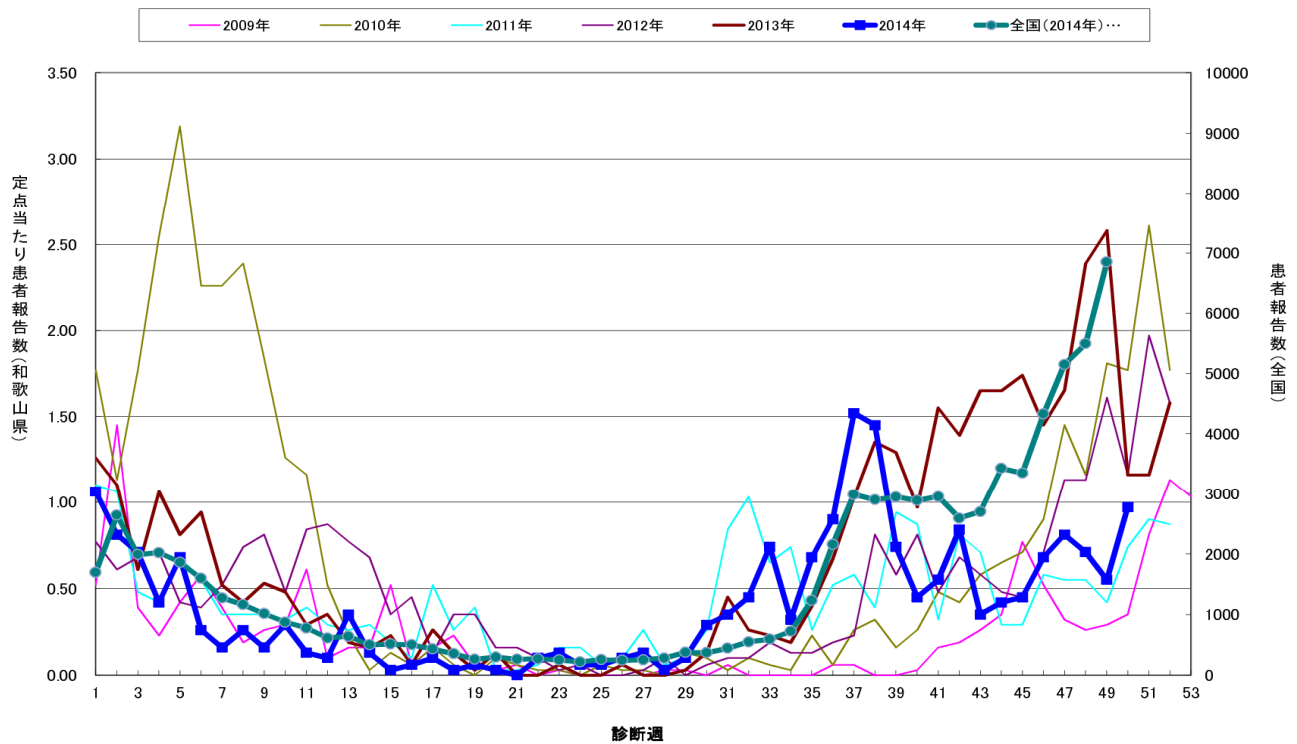
また、せきの症状がある場合はマスクを着用する等、せきエチケットを心がけてください。

なお、RSウイルス感染症に警報・注意報レベル基準値は設定されていません。

RSウイルス感染症の詳しい説明はこちら：（厚生労働省HP）

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/rs_ga.html

RSウイルス感染症



風しんワクチン接種に対する助成制度について

和歌山県では、県内の19歳以上50歳未満の妊娠を希望する女性と妊婦の夫を対象とした風しんワクチン接種費用の助成をおこなっています。

詳しくは、現在お住まいの各市町村の保健福祉関係課へお問い合わせください。

助成期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日

○ 定点把握感染症の警報・注意報レベル基準値について

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	7	4	4
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
百日咳	1	0.1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

基準値はすべて定点当たりの報告数です。注意報の「-」は対象としないことを意味します。

◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

<届出状況>

1) 当該週に診断された感染症のみ掲載しています。

- 1 類感染症：報告はありませんでした。
- 2 類感染症：結核 7 名
- 3 類感染症：報告はありませんでした。
- 4 類感染症：つつが虫病 2 名、レジオネラ症 1 名
- 5 類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症 1 名

2) 第 1 週から当該週までに診断された患者報告数を掲載しています。

疾病名	報告数
結核	200
腸管出血性大腸菌感染症	12
E型肝炎	1
A型肝炎	5
重症熱性血小板減少症候群	2
つつが虫病	8
デング熱	1
日本紅斑熱	34
レジオネラ症	4
レプトスピラ症	1
アメーバ赤痢	2
ウイルス性肝炎	2
急性脳炎	1
クロイツフェルト・ヤコブ病	2
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5
後天性免疫不全症候群	3
侵襲性インフルエンザ菌感染症	6
侵襲性肺炎球菌感染症	8
水痘(入院例)	6
梅毒	10
破傷風	2
風しん	1
麻しん	26
薬剤耐性アシネトバクター感染症	1

◆◆ 5類定点把握感染症(週報)について ◆◆

<各保健所の警報注意報レベル状況>

警報レベル

急性出血性結膜炎 (田辺保健所管内)

注意報レベル

ありません。

<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-:患者報告がない、…:保健所管内に定点が存在しない)

		和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本
インフルエンザ	報告	58	7	32	35	8	4	5	-	-
	定当	3.87	2.33	5.33	5.83	1.6	1.33	0.83	-	-
RSウイルス感染症	報告	9	-	8	1	1	9	2	-	-
	定当	1	-	2	0.25	0.33	4.5	0.5	-	-
咽頭結膜熱	報告	1	-	3	-	-	2	6	-	-
	定当	0.11	-	0.75	-	-	1	1.5	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	16	-	5	9	7	3	16	-	-
	定当	1.78	-	1.25	2.25	2.33	1.5	4	-	-
感染性胃腸炎	報告	79	12	31	21	10	-	3	1	2
	定当	8.78	6	7.75	5.25	3.33	-	0.75	0.5	2
水痘	報告	8	6	1	1	2	1	7	-	-
	定当	0.89	3	0.25	0.25	0.67	0.5	1.75	-	-
手足口病	報告	19	2	12	3	1	-	1	-	-
	定当	2.11	1	3	0.75	0.33	-	0.25	-	-
伝染性紅斑	報告	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	0.25	-	-
突発性発しん	報告	7	1	1	1	-	2	-	-	-
	定当	0.78	0.5	0.25	0.25	-	1	-	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.11	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	1	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	1	…	…
流行性角結膜炎	報告	3	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	1	…	…	…	…	…	-	…	…
細菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
無菌性髄膜炎	報告	1	…	-	1	-	-	-	-	…
	定当	0.33	…	-	0.5	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	報告	-	…	-	1	-	-	1	-	…
	定当	-	…	-	0.5	-	-	0.5	-	…
クラミジア肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…

<院内感染症の動向>

11月の定点当たり患者報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症が2.91人(先月:2.18人)となっています。メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症で患者報告数が最も多い年齢階級層は、70歳以上で全体の約63%となっています。

【11月の年齢階級層別の患者報告数(和歌山県)】

		総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告	32	2	-	-	1	1	-	-	-	2	1	1	-	-	1	3	20
	定当	2.91	0.18	-	-	0.09	0.09	-	-	-	0.18	0.09	0.09	-	-	0.09	0.27	1.82
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-
	定当	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09	-	-	-	0.09	-

和歌山県感染症情報 (WIDR) 2014 年第 50 号

発行日：平成 26 年 12 月 18 日

発行元：和歌山県感染症情報センター

(和歌山県環境衛生研究センター内)

和歌山市砂山南 3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail e0318011@pref.wakayama.lg.jp

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

(お問い合わせ先)

和歌山県福祉保健部健康局健康推進課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2657

E-mail e0412003@pref.wakayama.lg.jp

この WIDR は感染症新法に基づいて実施されている感染症発生動向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意ください。